

イヤイヤ期について

何かと「イヤ！」とは言うものの、じゃあどうしたいのかというところよくわからない。

子どもの「イヤ！」は、自分の気持ちをお母さんやお父さんに伝えようとする成長の表れです。

イヤイヤ期の子どもが求めているものは、「そうなのね。あなたはそう思うのね。」と受けとめてもらうことなのです。

子どもの行動にイライラした時は、深呼吸などをして落ち着くことが大切です。

子育てに迷ったり、悩んだ時は、まわりの人に話を聞いてもらったり、地域子育て支援センターへ遊びに来てください。



子どもの育ちQ&A



子育ては、なかなか思うようにいかないことも。子どもの心はどのように成長するのでしょうか？



子ども支援センターすてっぴ21大和田
TEL 047-486-7455
母子保健課（八千代市保健センター内）
TEL 047-486-7250

八千代市イメージキャラクター「やっち」

2018年4月改訂

お母さんの
悩み・不安

友だちにおもちゃを貸せません。
どうして？

自分の大切なおもちゃなどの物を貸せない気持ちを抱くことはとても自然なことで、大切な発達の一つでもあります。一緒に遊ぶことも楽しいと気付くようになると自然と貸せるようになります。貸してあげられたときは、沢山ほめてあげましょう。

友だちをたたいてしまうのはどうして？

何でたたかなければならなかったのか、子どもの様子をよく観察してみてください。よくみると、子どもなりの理由が見えてくるはず。まずはその理由を理解し、子どもの気持ちを言葉で返してあげましょう。その上で、いけないことはいけないと伝えることも大切です。また、子どもがたたきそうになったら親が止めましょう。

自己主張に困っています。
どうしたらいいですか？

自己主張は、自分の気持ちを表現できるようになった成長の表れです。子どもの気持ちを受け止め、時間に余裕を持ち、ある程度つきあってみましょう。

チャレンジする気持ちは子どもの成長に必要なことです。「自分でできた！」と感ぜられるようなサポートをしてあげると、子どもは満足してとてもうれしいものです。それが積み重なって意欲を育てていきます。

集中力をつけるには
どうしたらいいですか？

子どもにとって遊びは生活の中心となるものです。そして遊びは学びの宝庫です。例えば、パズルやひも通しなど楽しく遊んでいますが、かなりの集中力が必要になってきます。このように、日頃の遊びの中からも、集中力や創造性などを自然に身につけていくことができます。